



国際文化学部デザイン文化学科2年次生の佐々木夕夏さんと鈴木春奈さんが、このほど「北海道映像コンテスト」の学生部門で奨励賞を受賞。同コンテストは、北海道総合通信局がコンテンツ制作の裾野拡大やクリエイターの人材育成を目的に毎年開催しているものです。

佐々木さんと鈴木さんは「身近に感じるアート」をテーマに、今年8月から10月まで開催される「札幌国際芸術祭2017」に向けたPR映像を制作。佐々木さんは、「札幌駅を舞台にすることで、見た人が身近にあるアート、デザインに注目してもらえるような作品ができました。」と振り返り、鈴木さんは、「映像制作未経験の状態でしたスタートしましたが、たくさんの経験を積むことができ、今後につながる時間を過ごせました。」と話しました。

指導に当たった早川講師は、「今回の作品は学生らしい視点で評価されました。映像を撮る楽しさと同時に、多くの人と協力しながら作品を完成させる難しさを体感できたことは2人にとって貴重な経験です。」と話しています。